

旭川WBC・旭川市教育委員会共催

連携公開講座「あさひかわ学」

9月28日(火)PM6時～7時「地域の豊かな創造性に向けてPart1」

10月19日(火)PM6時～7時「地域の豊かな創造性に向けてPart2」

東海大学 芸術工学部 暮らしデザイン学科 小林 謙先生

Part1:旭川は北海道を代表するデザイン都市と認識されている。旭川における、物作り史をふりかえり、いかに「デザイン」の重視へ至ったか、いかに産・学・官の間の連携がなされてきたかなど、旭川のデザインの特徴をお話していただきました。



※参加 19名 旭川のデザインのルーツ、デザインが生活全てに関連していることがよく理解できた。(アンケートから)※

Part2:大小の規模に関わりなく価値のある産業の創出。この地域には良い物作りの世界的吸引力を持った産業があり旭川の志に触れながら地域や世界に巣立っていった若者達もおります。時代が新たな局面を迎えている今、旭川のデザイン文化の資産を活かした未来創造のお話をさせていただきました。

※参加 9名 他地域のまちおこしの様子を知り、旭川もどうすれば活気ある街になるのでしょうか？旭川の家具に益々の活躍を祈ります。(アンケートから)※

10月16日(土)AM10時半～12時「北海道における寄生虫症の変遷」

旭川医大 寄生虫学 中尾 稔先生

人は、今も昔も自然環境を巧みに利用しながら生活しています。マラリア、裂頭条虫、エキノコックスという寄生虫に注目し、開拓時代から現代までの近代化の歴史をお話していただきました。



※参加 19名 もう忘れてしまった寄生虫を思い出し、大変な時代に育ったな～と思ったし、不衛生だった時の方がアレルギーに強かった事は面白いですね。(アンケートから)※